



寒工高改築工事かわら版

工事についてお気づきの点がございましたら、右記にご連絡ください。

第3号

根切り工事と基礎躯体工事を進めています。



6月は梅雨時期にもかかわらず、大崩れのない天候により、順調に工事を進めることが出来ました。いよいよ日差しが強くなってきましたが、熱中症対策をしながら安全に工事を進めていきたいと考えています。

さて、現在の工事の状況は、【体育館棟】【管理棟】は根切り工事が完了し、基礎用足場組立、鉄筋及び型枠組立作業を行っています。7月中には各棟の基礎コンクリート打設を行なう予定です。【産振棟】は根切り工事を行なっており、7/中頃から基礎躯体工事へと移っていきます。

しばらくは、大型車両の出入りが多い日が続きますが、安全に進めて参りますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

(左写真) R4.6.29北側上空より



【体育館棟】【管理棟】基礎の足場、鉄筋及び型枠の組立中です。



【産振棟】基礎根切り工事中です。

～鉄筋コンクリートとは？～



コンクリートは、古代ローマ時代から実用されている材料で、19世紀ヨーロッパでコンクリートに鉄筋や鉄網を組み合わせて使用する技法が登場したとされています。コンクリートは圧縮力には強いが引張力に弱い特性があります。鉄筋(鉄)はその逆に、圧縮力には弱く引張力に強い特性があります。お互いの弱い部分を補い合うことで、圧縮・引張ともに非常に強い構造になっています。また、鉄筋コンクリートは耐久性、耐火性に優れているほか、水密性や遮音性にも優れています。



「脱水・熱中症」に注意！

これからの季節は、湿気とともに気温も上昇していきます。体が暑さに順応できなくなり、屋外のみならず、屋内でも温度や湿度が高い環境下にいると、体内の水分塩分バランスが崩れて、体温調節機能が働かなくなって現れる症状を熱中症と言います。熱中症かも…と思ったら早めの対応をすることで重症化を防ぐことができます。

☆このような対策を

- 暑さを避ける エアコンや扇風機の活用。こまめな休憩。日差しを避ける。
- 水分補給 屋外はもちろん、屋内でも、のどが渇いていなくてもこまめに補給する。



現場内では空調服や塩分タブレットなどを有効に活用しています。



工事期間中は、安全を最優先に工事を進めて参りますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

重症度	主な症状
軽度	大量の発汗。めまい、立ちくらみ。筋肉痛やこむら返りなど。
中等度	汗が出なくなり、体温が上昇。頭痛、吐き気、嘔吐、だるさ、意識が遠い。
重度	さらに体温が上昇、けいれん、呼びかけに応じない、意識障害、昏睡など、命にかかわる状態。

◇熱中症が疑わしい人がいたら

- 涼しい場所へ
- からだを冷やす
- 水分補給



水分はとれるか

自分で水が飲めない、意識がない場合は、すぐに救急車を！

意識があるか？

7月の工事予定

- ～7/末 基礎根切、残土搬出
 - 7/継続 基礎用足場、基礎鉄筋、型枠組立
 - 7/5.15.28 産振棟捨コンクリート打設
 - 7/11.19.26 管理棟基礎コンクリート打設
 - 7/12.26 体育館基礎コンクリート打設
 - 7/末 産振棟基礎コンクリート打設
- ※上記予定は、天候等によりズレが生じる場合があります。